テクノロジーでビジネスの現場が変わる！（第1回）

出張消滅か。マイクロソフトの新ホログラム技術

2016.06.14

遠隔地にいる人と、いつでも実際に会って話ができる。SFの世界ではいろんな形で描かれてきましたが、いよいよそれが現実化するかもしれない技術が発表されました。それは一体どのようなテクノロジーなのか、私たちの仕事や生活にどのような変化をもたらすのでしょうか。

TV会議やWeb会議でコミュニケーションは改善されたか？

既に企業での導入が進んでいるTV会議やWeb会議は、遠隔地でも容易に対面でのコミュニケーションを可能にし、情報伝達や社員間のコラボレーションを今まで以上に促進しています。また、会議のたびに発生する移動費や出張費を削減し、さらに移動時間の無駄を省くというメリットも見逃せません。日常的にこれらを利用している企業やビジネスパーソンにとっては、今では手放せないビジネスツールになっているでしょう。

しかし完全にFace to Faceの代替コミュニケーションになっているかといえば、またそれも微妙なところです。確かにTV会議やWeb会議で相手の顔を見ながら話せるようになったとはいえ、やはりまだお互いの距離を感じる方も少なくないはずです。

マイクロソフトが開発した「horoportation（ホロポーテーション）」という技術は、お互いの距離感を飛躍的に縮め、遠隔地でのコミュニケーションをさらに円滑にしてくれるかもしれません。

バーチャルなものをよりリアルに表現するVR（Virtual Reality=バーチャル・リアリティ）技術や、ヘッドマウントディスプレイを用いて現実世界に3D映像を重ねて表示できるホロレンズは以前から開発が進められ、既に実用化が始まっています。今回発表された「ホロポーテーション」は、現実に遠隔地に存在するものや人をリアルタイムで目の前に3D映像で映し出すことができるテクノロジーです。

離れた場所にあるものを目の前に出現させる… 続きを読む